

「金峰学園の花瀬棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	南さつま市立金峰学園
2. 学年・人数	5年生 54人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時場所 日時 令和6年10月11日（金）～10月31日（木） 場所 金峰学園体育館 (2) 発表の日時場所 日時 令和6年11月1日（金）9：30～ 場所 金峰学園体育館
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名 称 花瀬棒踊り（はなざぼうおどり） (2) 由 来 昔島津公によって普及したといわれている。どこから伝えられたのか、不明であるが、加世田村原、高橋、田布施遠くは宮之城、栗野、高田などへ伝承したといわれる。 (3) 構成等 2列となり、前後の4人が1組となって踊る。時々前後左右斜めに組み打ちする。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	金峰学園では、郷土の歴史を学ぶ授業＝「金峰学」を学んでいる。地域の花瀬棒踊り経験者が金峰学園の体育館に出向き、棒踊りの指導を行い実現した。昭和14年に中絶し、平成に復活を遂げたがその後再び伝承が途絶え、約30年ぶりに「金峰学園フェスタ」により、5年生の児童が披露を行った。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	  練習の様子 発表の様子
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	○ 指導者 ・ 授業の中で地域の住民と一緒に活動することで、伝統を受け継いでいくのが見えた。そういった形で継承していければよいと思う。 ・ 僕たちが踊っていたころは中学生だったので5年生が覚えられるか心配したが、本番はしっかり仕上げてくれた。 ○ 児童 ・ 踊りは難しかったけど、楽しかった。 ・ 棒踊りのことをもっと知りたいと思った。 ・ 400年築いてきたものなので、僕たちが受け継いでいこうかなと思う。